

教材内容訂正のご案内

配布教材において、下記のとおり、誤りがございました。内容を訂正すると共に、受講生の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

■ 教材：2022年度版 1級電気工事施工管理技士第一次検定 講義要点テキスト

頁	該当箇所	誤	正
56	(1) 始動 4行目	…Y-△始動法、リアクトル始動法、 <u>スターデルタ始動法</u> 、…	…Y-△始動法、リアクトル始動法、 <u>スターデルタ始動法</u> 、…
244	(1) 掘削工法 Check!! 主な掘削工法 ①	① 水平切ばり工法… <u>掘削機械に対する制約が少なく一般的な工法である。</u>	① 水平切ばり工法… <u>側圧を水平に配置した圧縮材(切梁)で受ける最も一般的な工法であるが、掘削機械に対する制約が多い。</u>
282	Check!! 測定の留意事項 ②	② 電流回路の電源が1線または中性点を <u>設置</u> している場合、必ず絶縁変圧器によって電流を電源回路から絶縁する。	② 電流回路の電源が1線または中性点を <u>接地</u> している場合、必ず絶縁変圧器によって電流を電源回路から絶縁する。
299	Check!! 自動火災報知設備の施工の留意事項	⑤ 受信機の操作スイッチは、床面から <u>0.5m以上 1.5m以下</u> の高さに設置する。	⑤ 受信機の操作スイッチは、床面から <u>0.8m (いすに座って操作するものにあっては 0.6m) 以上 1.5m以下</u> の高さに設置する。
308	Check!! 新幹線鉄道の電車線の留意事項	② 新幹線鉄道の電車線のレール面に対する勾配は、 <u>10,000</u> 分の3以下とする。	② 新幹線鉄道の電車線のレール面に対する勾配は、 <u>1,000</u> 分の3以下とする。
326	3. 曲線式工程表 (Sチャート) 3行目	…工期の初期と後期では <u>早く</u> 、中間では <u>遅くなる</u> ため…	…工期の初期と後期では <u>遅く</u> 、中間では <u>早くなる</u> ため…
331	(8) フリーフロート	(8) フリーフロート(<u>TF・最大</u> 余裕時間)	(8) フリーフロート(<u>FF・自由</u> 余裕時間)
409	ワンポイント	…ここでは、電気通信事業法の概要、管理規定、電気通信主任技術者について理解しましょう。	…ここでは、電気通信事業法の概要、管理規程、電気通信主任技術者について理解しましょう。
409	2. 管理規定	2. 管理規定	2. 管理規程

■ 教材：2022 年度版 1 級電気工事施工管理技士第一次検定 受験対策資料

頁	該当箇所	誤	正
32	解答 6 行目	⑤ $L = \frac{N\phi}{I} [H]$ の式で表される。	⑤ $L = \frac{N\phi}{I} [H]$ の式で表される。 補足：分母は I (エル) ではなく I (アイ) が正しい記述です。
33	解答解説 6 行目	⑤ $L = \frac{N\phi}{I} [H]$ の式で表される。	⑤ $L = \frac{N\phi}{I} [H]$ の式で表される。 補足：分母は I (エル) ではなく I (アイ) が正しい記述です。
152	例題 選択肢 (1)	(1) 使用者は、満 16 歳以上の男性を、 交替制により午後 10 時から <u>午前時</u> までの 間において使用することができる。	(1) 使用者は、満 16 歳以上の男性を、 交替制により午後 10 時から <u>午前 5 時</u> まで の間において使用することができる。

■ 教材：令和 4 年度 1 級電気工事施工管理技術検定第一次検定 模擬試験 問題冊子

頁	該当箇所	誤	正
15	No. 34 1 行目	<u>回線</u> の22kV又は…	<u>3回線</u> の22kV又は……
40	No. 84 7 行目	3. <u>4mm²</u> の600V CVTケーブル	3. <u>14mm²</u> の600V CVTケーブル

■ 教材：令和 4 年度 1 級電気工事施工管理技術検定第一次検定 模擬試験 解答・解説冊子

頁	該当箇所	誤	正
3	No. 3 解説 7 行目	交流回路に電圧 $V [V]$ <u>加</u> し, …	交流回路に電圧 $V [V]$ <u>を印加</u> し, …
3	No. 5 解説 1 行目	設問の回路図は, 「 <u>メーク A</u> および…	設問の回路図は, 「 <u>メーク接点 A</u> および…
4	No. 9 解説 2・4 行目	揚水発電所の揚水時に必要な電力量 $W_m [MW \cdot h]$ を求める式は, $W_m = \frac{9.8H_p}{\eta_p \eta_m} [MW \cdot h]$ 設問にある数値を代入すると $W_m = \frac{9.8 \times 240}{0.8 \times 0.98} = 3000 [MW \cdot h]$	揚水発電所の揚水時に必要な電力量 $W_m [MW \cdot h]$ を求める式は, $W_m = \frac{9.8H_p}{\eta_p \eta_m} \cdot \frac{V}{t} \cdot \frac{1}{1000} [MW \cdot h]$ 設問にある数値を代入すると $W_m = \frac{9.8 \times 240}{0.8 \times 0.98} \cdot \frac{3.6 \times 10^6}{3600} \cdot \frac{1}{1000}$ $= 3000 [MW \cdot h]$
8	No. 27 解説 1 行目	配電系統に発生する電圧フリッカの抑制対策 <u>としては</u> , …	配電系統に発生する電圧フリッカの抑制対策 <u>としては</u> , …

15	No. 59 解説 2行目	政令で定める工事をしようとするときは、その工事に着手しようとする日の10日前にまでに <u>甲種消防設備が、消防庁又は消防署長に届け出なければならない。</u>	政令で定める工事をしようとするときは、その工事に着手しようとする日の10日前にまでに <u>甲種消防設備士が、消防庁又は消防署長に工事着手を届け出なければならない。</u>
18	No. 70 解説	高圧活線近接作業において、 <u>絶縁用保護具の着用又は活線作業用器具若しくは活線作業用装置の使用を事業者から命じられたときには、これを着用し、又は使用しなければならない。</u>	<u>労働安全衛生規則では「労働者が高圧の充電電路に接触し、又は、当該充電電路に対して頭上距離が30cm以内又は軀側距離若しくは足下距離が60cm以内に接近することにより感電の危険が生ずるおそれのあるときは、当該充電電路に絶縁用防具を装着しなければならない。ただし、当該作業に従事する労働者に絶縁用保護具を着用させて作業を行なう場合において、当該絶縁用保護具を着用する身体の部分以外の部分が当該充電電路に接触し、又は接近することにより感電の危険が生ずるおそれのないときは、この限りでない。」と規定されており、作業指揮者を置くときに、絶縁用防具の装着を省略できるといった規定はない。</u>

以上